

第12回 胚細胞呼吸測定装置研究会(第6回厚生労働省班会議)が平成26年6月14日(土)福島ビューホテルで開催されました。共同研究施設やパナソニック社、クリノ社、そして実際に臨床現場で使用する胚培養士からも意見を出し合い、胚呼吸測定装置と治具の試作品に改良を重ね、より使いやすいものにするため詳細なディスカッションが行われました。薬事承認が必須でなくなったため、研究、臨床応用へのハードルが低くなった一方、アニマルモデルでの臨床前実験も必要ではないか、という意見が出るなど、活発な意見交換がなされました。東北大学において倫理委員会の承認が得られ、今年度はヒト余剰卵を用いた研究も開始となります。この臨床研究により胚細胞呼吸測定装置が胚細胞の新たな客観的評価法となり、不妊症で悩まれている患者様にとって大きな福音となるよう、引き続き東北一丸となって研究を進めていきます。次回開催は9月に金沢です。

